

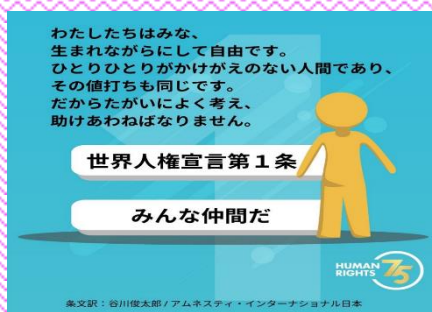
児童朝会 校長の話 12月11日

12月10日は「世界人権デー」でした。今から75年前の12月10日に「世界人権宣言」が出されました。どんな時代だったかという、世界中が戦争をしていました。日本もして



いました。第二次世界大戦です。そして、戦争で戦って死んだり、爆撃されて一般の市民が死んだり、食べるものがなくて餓死したり、痛めつけられて拷問で死んだり、罪を犯したと言われて死刑になったり、世界で数千万人の人が悲惨な死に方をして亡くなっていました。このような悲惨なことが二度と起きてはいけなく、国際連合で決めた「世界人権宣言」が出されました。「人権」とは、人が人として安心して人間らしく生きていくために守らなくてはならないものです。どんな内容か見てみましょう。

第一条は「みんななかまだ」です。「わたしたちはみな、生ま

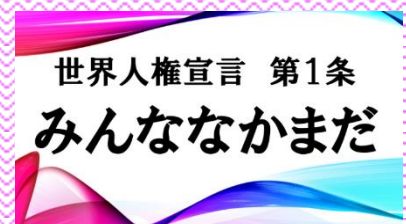


れながらにして自由です。

ひとりひとりがかけがえの

ない人間であり、その値打ちも同じです。だからたがい

によく考え、助けあわなければなりません。」



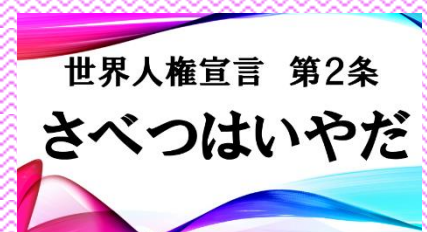
第二条は「さべつはいやだ」です。「わたしたちはみな、意見の違い、生まれ、男、女、宗教、人種、皮膚の色の違いによって差



別されるべきではありません。

せん。また、どんな国に生きていようとその権利にか

わりはありません。」



第三条は「あんしんしてくらす」です。「ちいさいこどもから、



おじいちゃん、おばあちゃんまで、私たちはみんな

自由に安心して生きていける権利をもっています」

第四条以下も、続いていきます。

皆さんも自分の生活を振り返ってみましょう。



11月に「浅草っ子アンケート」をしたと思います。アンケートの一番下に「困っていることはありますか？」という質問がありました。困っていることを書けることは大切です。書くことで解決につながっていくからです。そこには「傷つく言葉を言われる。」「悪口を言われる」「意地悪をされる」「やりたくないことを友達にやれと言われる」などが書かれていました。これでは安心して生活することができませんね。「みんななかまだ」という考え方に立って、差別することなく誰もが安心して生活できることが大切です。皆さんも一人一人の人権が守られて、みんなが仲間として安心して生活できる毎日であって欲しいと思います。